

# 国立研究開発法人土木研究所委託業務等評定要領

平成31年 1月22日  
達第 1 号

## (目的)

第1 この要領は、国立研究開発法人土木研究所が所掌する業務を請負に付し又は委託した場合における当該業務（以下「業務」という。）の成績評定（以下「評定」という。）に必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定の実施を図り、もって請負者等の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

## (評定の対象)

第2 評定は、原則として1件の契約金額が100万円以上のものについて行うものとする。

## (評定者)

第3 業務成績の評定者（以下「評定者」という。）は、監督員（「国立研究開発法人土木研究所契約規程実施細則」第7条の命令をされた者。）・業務総括者（当該業務を所管する主席研究員、上席研究員および課長ならびに研究企画官で、監督員、完了検査員の任命を受けていない者）及び完了検査員（「国立研究開発法人土木研究所契約規程実施細則」第8条の命令をされた者。）とする。

## (評定の方法)

第4 評定は、各契約業務毎に独立して行うものとする。  
2 評定は、監督又は検査により確認した事項に基づき、評定者毎に独立して的確かつ公正に行うものとする。

## (区分)

第5 評定は、別表1及び別表2の区分で行うものとする。

## (評定者の提出等)

第6 評定者は、業務完了のとき速やかに評定を行うものとする。  
2 評定者は、評定を行ったとき遅滞なく評定表を理事長に提出するものとする。

## 附 則

### (施行期日)

第7 この要領は、平成31年4月1日以降に完了する業務を対象に適用する。

別表1 試験研究関係業務内容による評定区分

番号	区 分	内 容	様式
1	計画検討・解析等 調査業務	技術的難易度の高い調査検討業務及び技術的に高度な実験・解析、試験。	様式1
2	測量・地質調査・ 単純調査等業務	測量、地質調査及び単純調査業務（一般的な観測・計測・試験・現地踏査、単純なデータ処理、文献資料等収集・整理、大気・水質等の測定・分析、現場技術業務、イベント等）。	様式2
3	設計業務	構造物設計業務、電算プログラミング業務等。	様式3

別表2 評定者の区分

番号	区 分	評 定 者	評定の責務
1	監督員	当該業務の監督員の任命を受けた者。 当該業務において複数の監督員が任命された場合は、合議又は監督員の代表が評定するものとする。	必ず実施。
2	(業務総括者)	当該業務に直接関与した場合（程度は問わない）についてのみ採点する。関与しなかった場合は、評定せず空欄とし、「0」で計算する。	場合により実施。
3	完了検査員	当該業務の完了検査員の任命を受けた者。	必ず実施。

業務総括者：当該業務を所管する主席研究員、上席研究員および課長で、監督員、完了検査員の任命を受けていない者

委託業務成績評定表(案) [計画検討・解析等調査業務]

件名																				
契約金額	円	履行期間	平成	年	月	日	～平成	年	月	日	完了年月日	平成	年	月	日	完了検査年月日	平成	年	月	日
契約の相手方	所在地：			商号又は名称：						管理技術者氏名：										
監督(調査)職員	所属	氏名	印	業務総括者	所属	氏名	印	検査員	所属	氏名	印									
項目	細別	評価要素					監督(調査)職員		(業務総括者)	検査員										
実施計画	業務の理解	業務の目的と内容を理解・把握していたか否か。					(±3点以内) 点		(±15点以内)	(±4点以内) 点										
	事前準備	管理技術者の基礎知識(既往文献等の把握等)は十分だったか否か。					(±3点以内) 点													
	打合せ協議	当初打合せは、的確な質問・有意義な提案があったか否か。					(±3点以内) 点													
	業務計画書	検討項目設定及び調査解析手法等の技術的内容が適切だったか否か。					(±3点以内) 点			(±4点以内) 点										
履行手順・工程、時期・内容、安全確保は、適切だったか否か。					(±5点以内) 点															
		人員体制は、能力・人数ともに適切だったか否か。					(±3点以内) 点		_____点											
履行	打合せ協議	打合せは、連絡・積極性、時期・内容、理解・記録など適切だったか否か。					(±6点以内) 点		(±10点以内)											
	履行管理	ミストワフルが少なく、予定通り又は余裕をもって安全に完了したか否か。					(±4点以内) 点													
	主務の履行	照査、技術的検討、目的に対する達成度は十分だったか否か					(±6点以内) 点			_____点										
	技術力	常に創意工夫・必要な検討・的確な提案があったか否か。										(±4点以内) 点								
成果品	技術力	目的の成果を導き出すための手段・解析は、十分か否か。初期の目的に照らし、優れた成果を上げたか否か。										(±8点以内) 点								
			要点のチェック(要点数値の検討・類似比較など)は、十分なされたか否か。										(±3点以内) 点							
			打合せ資料等の必要書類が整っているか、計算・図面等に単純ミスがあったか否か。										(±5点以内) 点							
	とりまとめ	記載方法に創意工夫が見られるか否か。誤字脱字はないか。(監督(調査)職員観点:経過。検査員観点:結果。)					(±2点以内) 点					(±4点以内) 点								
		成果を的確にまとめたか。(監督(調査)職員観点:打合等に沿っているか否か。検査員観点:結果の良否。)					(±2点以内) 点		(±5点以内)			(±4点以内) 点								
		仕様書・打合せ等により必要とされた事項を十分網羅しているか否か。							_____点			(±4点以内) 点								
加減点集計						<b>A</b> 点		<b>B</b> 点		<b>C</b> 点										
事故等による減点	次項を参考として-15点まで減点することができる。 ① 業務関係者に重傷者が発生した事故等：-5点 ② 業務関係者に死亡者が発生した等の重大事故等：-10点 ③ 公衆に負傷者もしくは死亡者が発生した等の重大事故等：-15点					<b>D</b> _____点														

評定点 (点) = 60 + ( **A** + **B** ) × (40/70) × 0.6 + **C** × 0.4 + **D** - \_\_\_\_\_

↑ 評定点は、小数点以下を四捨五入して、正数とする。

注： 評定点は、①検査員が所管の課長・上席研究員・グループ長の場合は、検査員本人が点を付ける。  
②検査員が所管以外の課長・上席研究員・グループ長の場合は、検査員が監督(調査)職員に聞いて点を付ける。又は、監督(調査)職員が点を付けることが出来る。  
評定点および記事の記述は、各自手書きとする。

記事

監督(調査)職員：

業務総括者：

検査員：

委託業務成績評定表(案) [測量・地質調査・単純調査業務]

件名																						
契約金額	円	履行期間	平成	年	月	日	～平成	年	月	日	完了年月日	平成	年	月	日	完了検査年月日	平成	年	月	日		
契約の相手方	所在地：			商号又は名称：						管理技術者氏名：												
監督(調査)職員	所属	氏名	印	業務総括者	所属	氏名	印	検査員	所属	氏名	印											
項目	細別	評価要素					監督(調査)職員		(業務総括者)		検査員											
実施計画	業務の理解	業務の目的と内容を理解・把握していたか否か。					(±3点以内)		点				(±4点以内)		点							
	事前準備	管理技術者の基礎知識(既往文献や現地状況等の把握等)は十分だったか否か。					(±6点以内)		点													
	打合せ協議	当初打合せは、的確な質問・有意義な提案があったか否か。					(±2点以内)		点													
	業務計画書	検討項目の設定及び調査解析手法の技術的内容・工程計画、安全確保が適切だったか否か。					(±3点以内)		点		(±15点以内)				(±4点以内)		点					
		人員体制は、能力・人数ともに適切だったか否か。					(±2点以内)		点		_____点											
履行	打合せ協議	打合せは、連絡・積極性、時期・内容、理解・記録など適切だったか否か。					(±6点以内)		点													
	履行管理	ミ・ト・フ・ルが少なく、予定通り又は余裕をもって安全に完了したか否か。					(±4点以内)		点		(±10点以内)											
	主務の履行	照査・技術的検討、目的に対する達成度は十分だったか否か					(±6点以内)		点		_____点											
	技術力	常に創意工夫・必要な検討・的確な提案があり、現地調査等を十分考慮して作業したか否か。													(±8点以内)		点					
成果品	とりまとめ	仕様書、打合せ等による必要事項を完全かつ広範囲に網羅しているか否か。													(±4点以内)		点					
		要点のフィク(要点数値の検討・類似比較など)は、十分なされたか否か。													(±4点以内)		点					
		打合せ資料等の必要書類がきちんと整っているか否か。													(±4点以内)		点					
		記載方法に創意工夫が見られるか否か。誤字脱字はないか。(監督(調査)職員観点:経過。検査員観点:結果。)					(±5点以内)		点						(±8点以内)		点					
		成果を的確にまとめたか。(監督(調査)職員観点:打合等に沿っているか否か。)					(±3点以内)		点		(±5点以内)											
		計算間違い、図面の誤り等のミスが最終成果にあったか否か。									_____点				(±4点以内)		点					
加点・減点集計								<b>A</b> 点		<b>B</b> 点				<b>C</b> 点								
事故等による減点	次項を参考として-15点まで減点することができる。 ① 業務関係者に重傷者が発生した事故等：-5点 ② 業務関係者に死亡者が発生した等の重大事故等：-10点 ③ 公衆に負傷者もしくは死亡者が発生した等の重大事故等：-15点							<b>D</b> _____点														

評定点 (点) = 60 + ( **A** + **B** ) × (40/70) × 0.5 + **C** × 0.5 + **D** \_\_\_\_\_

↑  
評定点は、小数点以下を四捨五入して、正数とする。

注：  の評定点は、①検査員が所管の課長・上席研究員・グループ長の場合は、検査員本人が点を付ける。  
②検査員が所管以外の課長・上席研究員・グループ長の場合は、検査員が監督(調査)職員に関して点を付ける。又は、監督(調査)職員が点を付けることが出来る。  
評定点および記事の記述は、各自手書きとする。

記事

監督(調査)職員：

業務総括者：

検査員：

委託業務成績評定表(案) [設計業務]

件名																						
契約金額	円	履行期間	平成	年	月	日	～平成	年	月	日	完了年月日	平成	年	月	日	完了検査年月日	平成	年	月	日		
契約の相手方	所在地：	商号又は名称：										管理技術者氏名：										
監督(調査)職員	所属	氏名	印	業務総括者	所属	氏名	印	検査員	所属	氏名	印											
項目	細別	評価要素					監督(調査)職員		(業務総括者)		検査員											
実施画面	業務の理解	業務の目的と内容を理解・把握していたか否か。					(±2点以内)		点		(±2点以内)		点									
	事前準備	管理技術者の基礎知識(既往文献や現地状況等の把握等)は十分だったか否か。					(±4点以内)		点													
	打合せ協議	当初打合せは、的確な質問・有意義な提案があったか否か。					(±2点以内)		点													
	業務計画書	検討項目の設定及び調査解析手法の技術的内容・工程計画が適切だったか否か。					(±3点以内)		点		(±15点以内)		(±2点以内)		点							
		人員体制は、能力・人数ともに適切だったか否か。					(±1点以内)		点		_____点											
履行	打合せ協議	打合せは、連絡・積極性、時期・内容、理解・記録など適切だったか否か。					(±7点以内)		点													
	工程管理	ミストアップが少なく、予定通り又は余裕をもって完了したか否か。					(±4点以内)		点		(±10点以内)											
	主務の履行	照査、技術的検討、目的に対する達成度は、十分だったか否か。					(±9点以内)		点		_____点											
	技術力	常に創意工夫・必要な検討・的確な提案があり、現地調査等を十分考慮して作業したか否か。											(±8点以内)		点							
成果品	技術力	目的の成果を導き出すための手段・解析は、十分か否か。初期の目的に照らし、優れた成果を上げたか否か。											(±7点以内)		点							
	とりまとめ	要点のチェック(要点数値の検討・類似比較など)は、十分なされたか否か。											(±4点以内)		点							
		打合せ資料等の必要書類が整っているか、計算・図面等に単純ミスがあったか否か。											(±6点以内)		点							
		記載方法に創意工夫が見られるか否か。誤字脱字はないか。(監督(調査)職員観点:経過。検査員観点:結果。)					(±5点以内)		点				(±4点以内)		点							
		成果を的確にまとめたか。(監督(調査)職員観点:打合等に沿っているか否か。検査員観点:結果の良否。)					(±3点以内)		点		(±5点以内)		(±4点以内)		点							
		仕様書・打合せ等により必要とされた事項を十分網羅しているか否か。									_____点		(±3点以内)		点							
加減点集計								<b>A</b> 点		<b>B</b> 点				<b>C</b> 点								
事故等による減点	次項を参考として-15点まで減点することができる。 ① 業務関係者に重傷者が発生した事故等：-5点 ② 業務関係者に死亡者が発生した等の重大事故等：-10点 ③ 公衆に負傷者もしくは死亡者が発生した等の重大事故等：-15点							<b>D</b> _____点														
<p>評定点 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> (点) = 60 + ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> ) × (40/70) × 0.4 + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> × 0.6 + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span></p> <p>↑ 評定点は、小数点以下を四捨五入して、正数とする。</p> <p>注： <span style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> の評定点は、①検査員が所管の課長・上席研究員・グループ長の場合は、検査員本人が点を付ける。 ②検査員が所管以外の課長・上席研究員・グループ長の場合は、検査員が監督(調査)職員に聞いて点を付ける。又は、<u>監督(調査)職員が点を付けることが出来る。</u></p> <p>評定点および記事の記述は、各自手書きとする。</p>										<p>記事</p> <p>監督(調査)職員：</p> <p>業務総括者：</p> <p>検査員：</p>												